令和7年度和歌山県立こころの医療センター施設管理コンサルタント業務委託に係る
公募型プロポーザル募集要領

1 目的

和歌山県立こころの医療センターは建設より約20年が経過し、建物や設備の老朽化が進み今後大規模修繕が必要とされている。現在個別施設計画に基づき施設管理を行っているが、計画策定から相当年数がたち計画と実態の乖離が見られ、大規模修繕への計画的な対応が困難となっている。そのため建物、設備の現状調査を踏まえた中長期的視点からの個別施設計画の見直しへの助言・提案等及び個別的な施設設備修繕（小規模修繕を含む）への助言・提案を基に、持続的かつ効率的な施設管理を目的とするものである。

この業務の委託先の選定にあたり、公募型プロポーザル方式により、最も優れた提案及び業務実行能力を有し、最適と判断される事業者を選定するために必要な事項を定めるものである。

2 プロポーザルの概要

(1) 業務名

令和7年度和歌山県立こころの医療センター施設管理コンサルタント業務

(2) 業務内容

- ・個別施設計画支援業務
- ・修繕計画見直し提案業務

詳細については、「令和7年度和歌山県立こころの医療センター施設管理コンサルタント業務委託仕様書」のとおり

(3) 委託期間

契約日から令和8年3月31日まで

(4) 委託上限額

1,650,000円（消費税及び地方消費税の額を含む）を上限とする。

(5) 契約相手方の選考

本業務は、公募による企画提案を募集し、優れた提案及び能力を有し最も適格と判断された事業者を選定し、契約候補者とする。

3 参加資格

以下の各号の全ての要件に該当する者とする。

- (1) 条件付き一般競争入札における和歌山県建設工事に係る委託業務入札参加資格審査取扱い基準（平成20年12月26日施行）第7条に基づく認定を受けている者で、令和7・8年度入札参加資格審査により建築関係建設コンサルタント業務（建築総合）の建築一般部門の認定を受けていること。
- (2) 一級建築士が1名以上所属している者であること。
- (3) 和歌山県内に住所又は本店を有する者であること。
- (4) 建築士法（昭和25年法律第202号）第26条に基づく建築士事務所の閉鎖期間中でない者であること。

- (5) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 条）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (6) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立及び民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立がなされていない者であること。
- (7) 過去 5 年以内に国又は地方公共団体発注の同種業務の実績を有すること。または過去 5 年以内に病院施設（設立主体は問わない）の設計を行った実績を 2 件以上有すること。
- (8) 和歌山県建設工事等契約に係る入札参加資格停止等措置要綱（平成 16 年 6 月 15 日制定）に基づく入札参加資格停止の期間中でない者であること。
- (9) 和歌山県建設工事等暴力団排除対策措置要綱（昭和 62 年 12 月 21 日制定）に基づく入札参加除外を受けていない者であること。

4 参加手続き

参加表明書（様式第 1 号）の提出により、参加を受け付ける。

(1) 事務担当

和歌山県立こころの医療センター事務局総務課 磯

〒643-0811 和歌山県有田郡有田川町庄31番地

電 話 0737-52-3221

F A X 0737-52-5571

電子メール iso_k0001@pref.wakayama.lg.jp

(2) 参加表明書（様式第 1 号）の提出

- ① 提出方法 持参又は郵送
- ② 提出期限 令和 7 年 7 月 2 日（水）午後 5 時まで（必着）
- ③ 提出先 上記 4（1）

(3) 質問書（様式第 2 号）の受付及び回答

- ① 提出方法 F A X 又は電子メール
- ② 提出先 上記 4（1）
- ③ 提出期限 令和 7 年 6 月 19 日（木）午後 5 時まで（必着）
- ④ 回答方法 質問をとりまとめの上、令和 7 年 6 月 26 日（木）までに和歌山県立こころの医療センターホームページに掲載する。

5 選考方法

企画提案書の提出とプレゼンテーションによる。

(1) 企画提案書等

- ① 提出方法 持参又は郵送
- ② 提出先 上記 4（1）
- ③ 提出期間 令和 7 年 7 月 3 日（木）～令和 7 年 7 月 10 日（木）午後 5 時まで（必着）
- ④ 提出書類

ア 企画提案書（様式第 3 号）

次に掲げる事項を含む内容とし、A 4 版で作成。

(7) 業務実施方針

- a 基本的な取組姿勢
- b 法令遵守に関する考え方
- (イ) 組織・実施体制
 - a 業務実施体制、実施予定人員
 - b 管理責任者、指揮監督者等
- (ウ) 業務実施方法
 - a 建物、施設設備の現状調査方法及び調査評価結果報告（雛形）
 - b aの現状調査を踏まえた修繕箇所の優先評価方法
- (エ) 誓約書

イ 提案者（会社）概要

ウ 一級建築士であることを証明する書類

エ 法人にあつては、履歴事項全部証明書の写し

オ 決算状況がわかる書類（直近の会計年度から3年分）

- ⑤ 提出部数 5部（1部を正本とし、4部は複写で可）

(2) プレゼンテーションの実施

① 日時 令和7年7月中旬 ～ 下旬（予定）

② 場所 和歌山県民文化会館 4階 会議室（予定）

※ 日時等については、参加者に別途通知する。

6 最優秀提案者等の選考、決定及び通知の方法

(1) 選考方法

選考は、「和歌山県立こころの医療センター施設管理コンサルタント業務委託プロポーザル審査委員会」において行い、最優秀提案者及び優秀提案者を決定する。

(2) 評価項目及び評価基準

（業務実施方針）

- ・委託業務の目的に合致しているか
- ・病院施設、設備の特性を踏まえた方針となっているか

（組織・実施体制）

- ・組織体制及び人員配置について十分か
- ・委託業務に必要な知識及び経験を有する人材を確保しているか

（法令遵守対策）

- ・法令遵守に対する考え方や取組内容が適切か

（業務実施方法と実績）

- ・具体性及び実現性は高いか
- ・各提案者における特徴や優位性があるか
- ・十分な実績を有しているか

（価格）

- ・価格は低廉か

(3) 選考結果の通知

選考結果は、参加者全員に対して書面で通知する。

(4) 選考後の取り扱い

最優秀提案者として選考された者と契約交渉を行う。ただし、契約交渉が不調となった場合は、優秀提案者と契約交渉を行う。

(5) 最優秀提案者が2者以上存在する場合の取り扱い

最優秀提案者が2者以上存在する場合は、当該者にくじを引かせ、契約交渉を行う者の順番を決定する。くじは、契約交渉者の順番を決定するため、紙に該当者と同数の直線を引き、「1、2、3、・・・」と表示をする。くじを引く順番はくじで決め、くじを引く順番を決めるためのくじは提出書類の受付け順で引くものとする。

(6) 提案者が1者の場合の取り扱い

提案者が1者であった場合は、企画提案書等の審査及びプレゼンテーションにより委託することが適切でないと判断される場合を除いて、同者を最優秀提案者として取り扱う。

委託することが適切でないと判断した場合、書面で提案者にその理由を通知する。

(7) 提案者がいない場合の取り扱い

提案者がいない場合は、再度募集を行う。

7 その他

(1) 書類作成において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨とする。

(2) 留意事項

① 書類の著作権は、参加者に帰属する。

② 提出書類は、返却しない。なお、企画提案者の選定以外に無断で使用しないものとする。

③ 提出書類に虚偽の記載をした場合には、提出された企画提案書を無効とするとともに、虚偽を記載した者に対して指名停止の措置を行うことがある。

④ 書類提出後の記載内容の変更は認めない。

(3) 参加に要する費用

本プロポーザルに要する費用は、参加者の負担とする。

(4) 災害などにより不測の事態が生じた場合は、本件に関する手続きを延期することがある。